

基調講演



宮代 陽之 氏 (株)国際経済研究所 非常勤フェロー (世界経済フォーラム第四次産業革命センター)

- ✓ 1983年トヨタ自動車入社後、コロンビア大学ビジネススクールに留学。2008年7月より国際経済研究所に所属し、2020年3月より、同研究所の非常勤フェローとして勤務。
- ✓ 自動車業界での経験を基に国内外のスマートシティ・モビリティ動向を調査し、日本国内の地方MaaSの持続可能な事業化策を検討。テクノロジーと政策ギャップを補うグローバルな官民連携プラットフォームである、「世界経済フォーラム第四次産業革命センター」活動にも参画。



神田 佑亮 氏 呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授 (国土交通省「アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」有識者検討会」委員)

- ✓ 平成13年に株式会社オリエンタルコンサルタンツ入社。京都大学准教授などを経て、平成29年に呉工業高等専門学校の教授として、まちづくりや公共政策を中心に地域課題の解決につながる基礎技術の研究を行う。
- ✓ 広島県庄原市をはじめ、中国地域を中心とした各地のMaaS実証メンバーとして参画するなど、MaaSに関する高い知見・専門性を有する。

パネラー

杉崎 正哉 氏 RYDE (株) 代表取締役

- ✓ 慶應義塾大学修士課程修了。2019年に二次交通のデジタル化とその活用を事業ミッションとするRYDE(株)を創業し、代表取締役に就任。
- ✓ 2021年には地域交通に特化したモビリティプラットフォーム「RYDE PASS」をリリース。本プラットフォームでは、鉄道、バス、路面電車、旅客船などの様々な乗車券を、簡単かつ持続可能にデジタル化することができ、中国地域では、2021年春から、いわくにバス株式会社や広島バス株式会社にて『RYDE PASS』導入。

田代 丈晴 氏 NTTコミュニケーションズ(株)

ビジネスソリューション本部 スマートワールドビジネス部 Smart Mobility推進室 部長

- ✓ 物流業界をメインとしたソリューション営業を約10年担当した後、M&Aファイナンスを学ぶため社外へ出向。以降クラウドサービスの事業計画などを中心としたグローバルなビジネス戦略に従事。2021年、スマートモビリティ推進室に着任後は、自動運転ロボット管制事業の責任者として現在に至る。
- ✓ 今年6月から名古屋市中区の久屋大通公園で、自動走行ロボットによる巡回警備の実証実験を、同社と公園の指定管理者の三井不動産が共同で実施。

内藤 真也 氏 西日本旅客鉄道(株) 中国統括本部 経営企画部 地域プロデューサー

- ✓ 2004年に、西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)へ入社し、運転士からプロジェクトや予算のマネジメント等の担当ポジションに転身し、2019年JR西日本広島支社地域共生室、本社デジタルソリューション本部を経て現在に至る。内閣府地域活性化伝道師。
- ✓ 2016年に、(株)瀬戸内ブランドコーポレーションへ出向し、瀬戸田町地域の活性化を支援。築140年の古民家「旧堀内邸」の再生やグリーンスローモビリティの導入実証事業など取り組む。

宮下 和也 氏 (株)バイタルリード 総合計画部 部長

- ✓ 1998年に京成電鉄(株)へ入社し、運転士・不動産開発部門・経営企画部門の勤務等を経て、2014年に(株)バイタルリードへ入社。公共交通を中心とした調査・計画策定など、主に、交通まちづくりに関する業務に従事。
- ✓ 同社は、「交通」をキーワードに交通計画コンサルティング(公共交通計画・まちづくり計画等)とシステム開発を実施。この経験と実績を生かし、AIオンデマンド配車システム TAKUZOを運営し、過疎化が進む中山間地域における移動手段として、定額乗合タクシーの実証実験を島根県大田市温泉津地区や同県美郷町などで実施。

MaaS創出推進事業成果紹介

安藤 貴史 氏 (国研) 産業技術総合研究所 主任研究員 (スマートモビリティチャレンジコンソーシアム)

- ✓ (独)国立健康・栄養研究所、(株)豊田中央研究所、米国NIDDK/NIH、(国研)国立長寿医療研究センターなどを経て、現在、(国研)産業技術総合研究所 情報・人間工学領域ヒューマンモビリティ研究センター人間行動研究チームに所属。公益社団法人自動車技術会ヒューマンファクター部門委員会委員。
- ✓ (国研)産業技術総合研究所は、スマートモビリティチャレンジ推進協議会の事務局として、地域モビリティの維持・強化、さらには移動課題の解決、地域経済の活性化を目指している。